



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第 140 号
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和4年4月 15 日



【今月のピックアップ!】

- ① 第17回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」
受賞作品展の開催

【手話カフェ】

- ② 働く聴覚障害者のコミュニケーション

【イベント・募集】

- ③ ひょうごユニバーサル社会づくり賞候補者の募集(×5/20)
- ④ 補助犬の貸付希望者の募集(×5/10)
- ⑤ 「兵庫県障害者アートギャラリー」4月の催し

【ラジオ】

- ⑥ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」



-
- ① 第 17 回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」受
賞作品展の開催
-

芸術・文化活動を通して、より多くの障害のある人の自己実現と
社会参加を進めるとともに、障害の有無に関わらず、交流を通して
共感と感動の輪を大きく広げることを目的に、毎年、兵庫県障害者
芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」を開催しています。

このたび、4月19日(火)～5月8日(日)まで「木口記念会館」において第17回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」の受賞作品の展示をおこないます。

力強い作品、やわらかい作品、ユニークな作品など、受賞されたみなさんの素晴らしい作品をどうぞご鑑賞ください。

■第17回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」受賞作品展

とき 4月19日(火)～5月8日(日) 9時30分～17時まで
ところ 木口記念会館(芦屋市呉川町 14-10)

② 【手話カフェ】 働く聴覚障害者のコミュニケーション

今年度も「手話カフェ」を掲載します。よろしくお願いいたします。

ユニバーサル推進課は主に障害者の社会参加を促進する事業を行っています。令和4年3月には4月からのユニバーサル社会づくり第7次率先行動計画を策定し、兵庫県職員一人一人が取り組む目標を定めています。また、障害別に理解を深めることができる「ユニバーサル県庁」ガイドブックも発行しました。

聴覚障害の特性としては、やはり意思疎通(コミュニケーション)と情報の共有が一番の課題です。

日常の会話では「どうしたらわかりやすいの?」を話し合いながらお互いに理解を深め、その人に合った方法でおしゃべりを楽しんでいただきたいです。

そして、仕事上でのコミュニケーションも、障害者の雇用の促進等に関する法律第三六条の五に示された「事業主が講ずべき措置に関して、その適切かつ有効な実施を図るために必要な指針」に「合理的配慮の提供が円滑になされるようにするという観点を踏まえ、障害者も共に働く一人の労働者であるとの認識の下、事業主や同じ職場で働く者が障害の特性に関する正しい知識の取得や理解を深めることが重要である」と書かれています。

働く聴覚障害者はそれぞれに自分が職場で働けるための工夫を行っています。そのような個人の努力に任せるだけでは十分に力を発揮できません。耳が聞こえにくいことはなかなか口に出して伝えることが難しいものです。会議の途中や盛り上がっているときに「もう一度」は言いにくいですよ。 「もう一度」と言わなくても十分わかるような周りの理解と支援があれば力が発揮できます。

外見からはわからない、本人も言い出しにくい「聞こえ」のことに理解を深めるきっかけになるようにという気持ちを込めて今年度も続けていきます。よろしくお願いたします。

③ ひょうごユニバーサル社会づくり賞の候補者募集(〆5/20)

県は、年齢、性別、障害の有無、文化等の違いに関わりなく、全ての人々が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる「ユニバーサル社会」を、皆さまと一緒に実現することを目指しています。

今年度も、ユニバーサル社会づくりに向けた個人・団体・企業の率先した実践活動を「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」として、顕彰します。

ユニバーサル社会の実現に向けて取り組まれている個人、団体、企業の方は、ぜひご応募ください。(自薦、他薦を問いません。)

■対象

ユニバーサル社会づくりの率先した活動を行っている兵庫県内に在住又は活動拠点を置く個人、団体、企業

■申し込み方法

応募用紙に必要事項を記入のうえ、ユニバーサル推進課に提出してください。(郵送、メール、持参いずれも可)

■募集締切

令和4年5月 20 日(金)

■詳細は県 HP をご覧ください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/shakaidukuri.html>

④ 身体障害者補助犬の貸付希望者の募集(※5/10)

県は、障害がある方の自立と社会参加を進めるため、身体障害者補助犬(以下補助犬)の貸付事業を行っています。

補助犬というと「盲導犬」を思い浮かべる方が多いのですが、それだけではありません。手や足に障害のある人の日常生活動作をサポートする「介助犬」や、聞こえない・聞こえにくい人に必要な生活音を知らせる「聴導犬」もいます。

■補助犬の貸付希望者を募集中

今年度も、5月10日まで、補助犬の貸付希望者を募集しています。貸付を希望される方は、まずは、居住地の市福祉事務所・町役場の障害福祉担当課にご相談ください。

■申請についての詳しい内容は、県 HP をご覧ください。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_000000024.html

⑤ 「兵庫県障害者アートギャラリー」4月の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、4月1日(金)～6月30日(木)まで「いたみ杉の子ゆうゆう・フォーゆう・ホープゆう作品展」を開催しています。

色とりどりの紙で丁寧に作られたちぎり絵や、色鉛筆やペンを
のびのび描かれた作品などをたくさん展示しています。
障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で描いた
アート作品をどうぞご鑑賞ください。

■「いたみ杉の子ゆうゆう・フォーゆう・ホープゆう作品展 作品展」

と き 4月1日(金)～6月30日(木) 10時～18時まで

※最終日は午後12時閉場

ところ 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー本館1階
(神戸市灘区原田通 3-8-30)

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

⑥ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

3月放送内容

■3月15日の放送内容

<ゲスト> 公益社団法人 家庭養護促進協議会 事務局長 橋本明
(はしもと あきら)さん

<テーマ>「里親」

みなさんは、親と暮らせない子どもたちがどのくらいいるのか知
っていますか。そのような子どもたちを施設でなく地域の一般家庭
で迎える里親制度。橋本さんが地道に続けている、子どもたちに
里親を探す「愛の手運動」や「里親」についてお話いただきました。

また番組後半は、障害をお持ちの方が作った商品をご紹介します。

◇商品 チーズスティックパイ ココナッツクッキー カシューナッツ
クッキー

◇製造 パン工房ワーキングたんば(丹波篠山市東沢田)

パイ生地にチーズがかかったチーズスティックパイはさくさく。

生地捏ねから焼き上げまですべて利用者さんが作り上げた、渾身のお菓子をぜひどうぞ。商品の詳細・購入はこちら。

<http://wakatake-fukushi.or.jp/publics/index/62/>

■詳しい放送内容は、ラジオ関西「ラジトピ」をご覧ください。

<https://jocr.jp/raditopi/2022/04/15/423137/>

■ご好評いただきましたラジオ放送は今回で最終回となります。
ご清聴ありがとうございました。

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで

兵庫県福祉部ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp
